

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：舞鶴市

プロジェクト名	人も地域も地球も元気に！環境にやさしいまちづくりプロジェクト		実施期間	平成23～26年度	テーマ	その他		新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>地球温暖化は、我々人類が抱える環境問題の中で最も大きな課題の一つであり、現在、この温暖化防止に向けた地球規模での大きな取組が進められている。しかしながら、こうした温暖化問題を背景として、高潮被害や高気温などの異常気象による影響が生じており、本市においても、市民一人ひとりが環境の保全・創造のために行動をおこし、全国的、国際的な動きに沿った取り組みを進めるだけではなく、市民・事業者・行政の協働によって着実な運動へと進展させていくことが重要となっている。</p> <p>また、温室効果ガスの排出削減をはじめとする低炭素社会の実現に向けた取組に加え、ごみ排出量の抑制、さらには再利用・資源化等を可能とする循環型社会の確立に向けた対策を講じ、国・京都府等と連携しながら官民一体となって取り組むことが求められている。</p>								
プロジェクトの目的及び概要	<p>26年度においては、節電・蓄電の視点から、引き続き電気自動車及び電力供給設備の導入等に対する支援を行い、これまでの取り組みと併せて一層の普及・啓発に努める。</p>								
	総事業費（千円）	83,849	本年度事業費（千円）	19,083	交付金額（千円）	4,150			

プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績（出来高数値等）

事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）
市町村 実施事業	低炭素社会実現事業	交付対象事業	家庭・企業が行う環境対策設備への支援、環境への負荷の低減及び地球温暖化の防止に寄与する事業活動（環境マネジメントシステム）に対する支援	電気自動車導入支援補助金（22件）、中小事業者の環境マネジメント認証取得に対する補助（4件）、中小企業環境対策設備導入助成金（4件）
	循環型社会確立事業	交付対象事業	不法投棄撲滅対策（パトロール）の実施	不法投棄パトロール（6コース、延べ620回）
住民 協働 事業	環境保全活動連携事業	交付対象事業 及び関連事業	市内一斉清掃活動に対する支援（クリーンキャンペーン）、市民団体による公共的空間の環境美化・維持活動	全市一斉清掃活動（クリーンキャンペーン） 7月13日 参加人数：79組3,299名 ごみ回収量：約9t
住民が 取り組む 事業	環境保全活動連携事業	交付対象事業	地域の美化活動に対する支援（舞鶴の川と海を美しくする会）	舞鶴の川と海を美しくする会が実施する事業に対する補助（河川・海岸清掃、環境美化絵画の募集・展示など）

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：舞鶴市

成果指標 ①	成果指標の目標数値	住宅用太陽光発電システムの設置基数 (平成26年度：800基)		成果指標の実績値 (27年3月31日時点)	1,152基	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	省エネに関する市民の意識の高まりによるもの。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標 ②	成果指標の目標数値	市内事業者の環境マネジメントシステム導入件数 (平成26年度：130件)		成果指標の実績値 (27年3月31日時点)	49件	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	事業所にシステム導入のメリットが十分理解されていないため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標 ③	成果指標の目標数値	電気自動車（EV・PHV）の普及台数 (平成26年度：250台)		成果指標の実績値 (27年3月31日時点)	74台	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	充電インフラが十分でないことやEVが相対的に高価格となっているため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標 ④	成果指標の目標数値	市制度活用による環境経営への取組事業者数 (平成26年度：10事業所)		成果指標の実績値 (27年3月31日時点)	4事業所	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	事業所に環境経営への取組のメリットが十分理解されていないため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標 ⑤	成果指標の目標数値	温室効果ガスの削減目標（1990年度比25%削減） (平成32年度：78.1万トン)		成果指標の実績値 (27年3月31日時点)	-	
	成果指標の達成状況	-	(左の理由)			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	温室効果ガスの排出量は全国的な各種統計データを基に算出する必要があるが、その算出時期は2年後となり、現在、平成24年度実績値を集計作業中である。	(時期)	平成27年10月上旬頃

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：舞鶴市

<p>本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果</p> <p>※未達成の場合も効果を記載すること</p>	<p>省エネルギー・新エネルギー設備の導入に関する市民意識の高まりや、環境対策関連の商品開発、技術開発並びに環境負荷の軽減に対する企業意識の向上等により、住宅用太陽光発電システムの設置基数及び中小企業が取り組む環境対策に向けた設備投資をうまく促すことができた。</p> <p>その一方で、環境マネジメントシステムの有用性がまだ浸透しておらず、また、電気自動車についても、相対的に普及が進んでいないため、上記事業を継続するとともに、引き続き当該事業の周知・PRに努めていく。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>市民団体による道路等の公共的空間における環境美化・維持活動の推進により、環境美化に対する市民意識の高揚につながったと同時に、市民と市が協働で環境美化活動を行う美化体制の確立に寄与することができた。</p>
	<p>府と市町村等との連携に資する成果</p>	<p>上記の低炭素社会実現事業及び循環型社会確立事業の実施により、京都府が目指す「環境のみやこ」づくり、並びに高い環境適応性や高度な文化性を兼ね備えた地球環境時代にふさわしい産業社会の実現に寄与することができた。</p>
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>市内一斉清掃活動や地域の美化活動等を通じて、地域住民で地域を美しくするという意識を高めることができた。</p>
	<p>リーディング・モデル成果</p>	
	<p>広域的波及成果</p>	
	<p>行財政改革に資する成果</p>	
	<p>その他の成果</p>	<p>上記事業の実施により、省エネルギー・新エネルギー設備の導入に関する市民意識が高まるとともに、環境対策関連の商品開発、技術開発並びに環境負荷の軽減に対する企業意識が向上した。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。